

人を対象とする看護系研究に関する情報公開

|                   |                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究課題名             | 在留外国人患者における日本語能力と在院日数延長との関連                                                                                                                                                                                                   |
| 研究の意義・目的          | 入院中の在留外国人患者の日本語能力と在院日数延長との関連を明らかにします。また、対象患者の日本語能力とクリニカルパスにおけるバリエーション発生との関連を明らかにすることを本研究の目的とします。本研究の実施により、入院中の在留外国人患者における日本語能力への支援体制の構築と看護実践の基盤の一助となります。                                                                      |
| 研究期間              | 大阪公立大学大学院看護学研究科倫理審査委員会に承認された日から 2026 年 3 月 31 日                                                                                                                                                                               |
| オプトアウト期間          | 大阪公立大学大学院看護学研究科倫理審査委員会の承認後から 2025 年 8 月 31 日                                                                                                                                                                                  |
| 研究協力をお願いしたい方（対象者） | 2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に大阪公立大学医学部附属病院に入院した 20 歳以上の外国人患者様のうち、①日本に 91 日以上滞在しており、②DPC 制度（1 日当たり包括支払い制度）の対象であり③日本語能力について、本人または医療者から配慮の必要性の申告があった方                                                                   |
| 利用する情報            | 電子カルテより以下のデータ収集を行います。<br>・基本情報として、入院時年齢、性別、国籍、日本語能力、保険種別、救護区分、主介護者<br>・診療情報として、入院時病名、入院時合併症、診療科、在院日数、クリニカルパス、通訳ツールの使用、退院時転帰                                                                                                   |
| 研究機関の情報           | 【研究機関ならびに実施体制】<br>大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野<br>中西潤、河野あゆみ<br>【協力機関】<br>大阪公立大学医学部附属病院                                                                                                                                                |
| 研究成果を公表する方法       | この研究で得られた結果は、研究対象者の個人情報が出ないようにした上で学会発表、論文投稿発表に使用します。                                                                                                                                                                          |
| データ収集開始・情報の提供方法   | データ収集開始は、大阪公立大学大学院看護学研究科倫理審査委員会の承認後とします。倫理審査委員会で承認された手順に基づき、研究対象者の患者 ID については、大阪公立大学医学部附属病院内の患者支援課国際診療支援センターより、適切に提供を受け、大阪公立大学医学部附属病院内で必要なデータを収集するためのみに使用します。なお、本研究は大阪公立大学医学部附属病院からの研究協力の同意を得てから実施します。                        |
| 個人情報の取り扱い         | 患者 ID、氏名、住所、生年月日などの個人を特定する情報は収集しません。収集した情報は、解析する前に病名などの個人情報を削除し新たな番号を付け、どなたのものかわからないようにします。収集した全ての情報は、本研究の研究者の責任において、2036 年 3 月 31 日までセキュリティ機能付き USB に保存して、鍵のかかる場所で厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。保管期間終了後には、記憶媒体を物理的に破壊して廃棄いたします。 |

|                         |                                                                                                                                |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外部への情報提供                | 外部への情報の提供は行いません。                                                                                                               |
| 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 | 大阪公立大学大学院看護学研究科地域包括ケア科学<br>博士前期課程 中西潤<br>教授 河野あゆみ                                                                              |
| 本研究の利益相反                | 本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業はありません。                                                                                                |
| 研究に協力をしたくない場合           | 本研究に関する質問や確認は、下記の連絡先にご連絡をお願いします。研究協力への辞退の申し出については、2025 年 8 月 31 日までに下記の連絡先までご連絡をお願いします。辞退の意思を示した場合でも患者様が治療や療養に不利益を受けることはありません。 |
| 連絡先                     | 大阪公立大学大学院看護学研究科地域包括ケア科学<br>メールアドレス：sr23570j@st.omu.ac.jp<br>対応者：中西潤                                                            |

本文書は、以下のサイトで各言語に翻訳が可能です。

This document can be translated into various languages at the following sites

본 문서는 다음 사이트에서 각 언어로 번역이 가능합니다.

本文档可以在以下站点翻译成多种语言

Google translation <https://translate.google.co.jp/?hl=ja>

ひとをたいしょうとするかんどけいけんきゅうにかんするじょうほうこうかい

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| けんきゅうかだいめい                     | ざいりゅうがいこくじんかんじゃにおけるにほんごのうりよくとざいいんにつすうえんちょうとのかんれん                                                                                                                                                                                                            |
| けんきゅうのいぎ・もくてき                  | にゅういんちゅうのざいりゅうがいこくじんかんじゃのにほんごのうりよくとざいいんにつすうえんちょうとのかんれんをあきらかにします。また、たいしょうかんじゃのにほんごのうりよくとくりにかるばすにおけるばりあんすはっせいとのかんれんをあきらかにすることをほんけんきゅうのもくてきとします。ほんけんきゅうのじっしにより、にゅういんちゅうのざいりゅうがいこくじんかんじゃにおけるにほんごのうりよくへのしえんたいせいのこうちくとかんどじっせんのきばんのいちじよとなる。                        |
| けんきゅうきかん                       | おおさかこうりつだいがくだいがくいんかんどがくけんきゅうかりんりんさいいいんかいにしょうにんされたひから 2026 ねん 3 がつ 31 にち                                                                                                                                                                                     |
| おぶとあうときかん                      | おおさかこうりつだいがくだいがくいんかんどがくけんきゅうかりんりんさいいいんかいのしょうにんごから 2025 ねん 8 がつ 31 にち                                                                                                                                                                                        |
| けんきゅうきょうりよくをおねがいたいのかた（たいしょうしゃ） | 2023 ねん 4 がつ 1 にちから 2025 ねん 3 がつ 31 にちまでのきかんにおおさかこうりつだいがくいがくぶふぞくびょういんににゅういんした 20 さいいじょうのがいこくじんかんじゃさまのうち、①にほんに 91 にちいじょうたいざいしており、②DPC せいど（いちにちあたりほうかつしはらいせいど）（1 にちにかかるおかねがあらかじめきまっているしはらいほうほう）のたいしょうであり、③にほんごのうりよくについて、ほんにんまたはいりょうしゃからはいりよのひつようせいのしんこくがあったかた |
| りようするじょうほう                     | でんしかるてよりいのかのでーたしゅうしゅうをおこないます。<br>・きほんじょうほうとして、にゅういんじねんれい、せいべつ、こくせき、にほんごのうりよく、ほけんしゅべつ、きゅうごくぶん、しゅかいごしゃのうむ<br>・しんりょうじょうほうとして、にゅういんじびょうめい、にゅういんじがつぺいしょう、しんりょうか、ざいいんにつすう、くりにかるばす、つうやくつーるのしょう、たいいんじてんき                                                            |
| けんきゅうきかんのじょうほう                 | 【けんきゅうきかんならびにじっしたいせい】<br>おおさかこうりつだいがくかんどがくぶちいきほうかつけあかがくぶんや（ちいきほうかつけあかがくぶんやとは、ちいきでひつようないりょうやかいご、ふくしのさーびすをうけられるようにするぶんや）<br>なかにしじゅん、こうのあゆみ<br>【きょうりよくきかん】<br>おおさかこうりつだいがくいがくぶふぞくびょういん                                                                         |
| けんきゅうせいかをこうひょうするほうほう           | このけんきゅうで えられたけつかは、けんきゅうたいしょうしゃのこじんじょうほうがわからないようにしたうえで がっかいはっぴょう、ろんぶんとうこうはっぴょうにしようします。                                                                                                                                                                       |

|                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| でーたしゅうしゅうかいし・じょうほうのていきょうほうほう                                       | でーたしゅうしゅうかいしは、おおさかこうりつだいがくだいがくいんかんごがくけんきゅうかりんりんさいいんかいのしょうにんごとします。りんりんさいいんかいでしょうにんされたてじゅんにもとづき、けんきゅうたいしょうしゃのかんじゃ ID については、おおさかこうりつだいがくがくぶふぞくびょういんないのかんじゃしえんかこくさいしんりょうしえんせんたーより、てきせつにていきょうをうけ、おおさかこうりつだいがくがくぶふぞくびょういんないでひつようなでーたをしゅうしゅうするためのみにしょうします。なお、ほんけんきゅうはおおさかこうりつだいがくがくぶふぞくびょういんからのけんきゅうきょうりょくのどういをえてからじっしします。        |
| こじんじょうほうのとりあつかい                                                    | かんじゃ ID、しめい、じゅうしょ、せいねんがっぴなどのこじんをとくていするじょうほうはしゅうしゅうしません。しゅうしゅうしたじょうほうは、かいせきするまえにびょうめいなどのこじんじょうほうをさくじょしあらたなばんごうをつけ、どなたのものかわからないようにします。しゅうしゅうしたすべてのじょうほうは、ほんけんきゅうのけんきゅうしゃのせきにんにおいて、2036 ねん 3 がつ 31 にちまでせきゅりていきのうつき USB にほぞんして、かぎのかかるばしょでげんじゅうにかんりし、けんきゅうのじっしにひつようなばあいのみにさんしょうします。ほかんきかんしゅうりょうごには、きおくばいたいをぶつりてきにはかいしてはいきいたします。 |
| がいぶへのじょうほうていきょう                                                    | がいぶへのじょうほうのていきょうはおこないません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| じょうほうのかんりについてせきにんをゆうするもののしめいまたはめいしょう                               | おおさかこうりつだいがくだいがくいんかんごがくけんきゅうかちいきほうかつけあかがく（ちいきほうかつけあかがくとは、ちいきでひつようないりょうやかいご、ふくしのさーびすをうけられるようにすること）<br>はかせぜんきかてい なかにしじゅん<br>きょうじゅ こうのあゆみ                                                                                                                                                                                     |
| ほんけんきゅうのりえきそうはん（ほんけんきゅうのけんきゅうしゃやかんけいしゃのりえきとけんきゅうのきゃっかんせいがたいりつすること） | ほんけんきゅうにかんれんし、かいじすべきりえきそうはんかんけいにあるきぎょうはありません。（ほんけんきゅうのけんきゅうしゃやかんけいしゃのりえきとけんきゅうのきゃっかんせいがたいりつするきぎょうはありません。）                                                                                                                                                                                                                  |
| けんきゅうにきょうりょくをしたくないばあい                                              | ほんけんきゅうにかんするしつもんやかくにんは、かきのれんらくさきにごれんらくをおねがいします。けんきゅうきょうりょくへのじたいのもうしでは、2025 ねん 8 がつ 31 にちまでにかきのれんらくさきまでごれんらくをおねがいします。じたいのいしをしめしたばあいでもかんじゃさまがちりょうやりょうようにふりえきをうけることはありません。                                                                                                                                                    |
| れんらくさき                                                             | おおさかこうりつだいがくだいがくいんかんごがくけんきゅうかちいきほう                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|  |                                                                                                                                |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>かけあかがく（ちいきほうかけあかがくとは、ちいきでひつようないり<br/>ようやかいご、ふくしのさーびすをうけられるようにすること）<br/>めーるあどれす：sr23570j@st.omu.ac.jp<br/>たいおうしゃ：なかにしじゅん</p> |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

Disclosure of information regarding nursing research involving human subjects

|                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Research Project Name                                                | The relationship between Japanese language proficiency and length of hospital stay among foreign residents in Japan                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Significance and purpose of the research                             | This study aims to clarify the relationship between the Japanese language ability of hospitalized foreign residents and the length of hospitalization. In addition, this study aims to clarify the relationship between the Japanese language ability of the target patients and the occurrence of variances in clinical pathways. The implementation of this study will help to establish a support system for the Japanese language ability of hospitalized foreign residents and to form a foundation for nursing practice. |
| Research period                                                      | From the date of approval by the Osaka Metropolitan University Graduate School of Nursing Ethics Committee March 31, 2026                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Opt-out period                                                       | After approval by the Osaka Metropolitan University Graduate School of Nursing Ethics Committee until August 31, 2025                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Those who would like to cooperate with the research (target persons) | Foreign patients aged 20 or older who were admitted to Osaka Metropolitan University Hospital between April 1, 2023 and March 31, 2025, those who ① stayed in Japan for 91 days or more, ② were subject to the DPC system (comprehensive daily payment system), and ③ have declared the need for special consideration regarding their Japanese language ability either by themselves or by medical professionals.                                                                                                             |
| Information to be used                                               | The following data will be collected from the electronic medical records.<br>- Basic information: age at time of admission, sex, nationality, Japanese language ability, insurance type, medical classification, presence or absence of primary caregiver<br>- Medical information: name of illness at time of admission, complications at time of admission, medical department, length of stay, clinical path, use of interpretation tools, outcome at time of discharge                                                     |
| Research Institute Information                                       | <b>【Research institutes and implementation structure】</b><br>Osaka Metropolitan University, School of Nursing, Department of Community Comprehensive Care Science<br>Jun Nakanishi<br>Ayumi Kono<br><b>【Collaborating organizations】</b><br>Osaka Metropolitan University Hospital                                                                                                                                                                                                                                             |
| How to publish your research results                                 | The results of this study will be used for academic presentations and publication in journal articles after the personal information of the study subjects is not revealed.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Start of data collection and                                         | Data collection will begin after approval by the Osaka Metropolitan University Graduate School of Nursing Ethics Committee. Based on the procedures approved                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| How to provide information                                  | by the Ethics Committee, patient IDs for research subjects will be appropriately provided by the International Medical Support Center, Patient Support Division, Osaka Metropolitan University Hospital, and will be used only to collect necessary data within Osaka Metropolitan University Hospital. This study will be conducted after consent for research cooperation has been obtained from Osaka Metropolitan University Hospital.                                                                                                                                                                                                                                        |
| Handling of personal information                            | No information that can identify individuals, such as patient ID, name, address, or date of birth, will be collected. Before analyzing collected information, personal information such as disease name will be deleted and a new number will be assigned to make it impossible to identify who it belongs to. All collected information will be stored on a security-enabled USB until March 31, 2036, at the responsibility of the researcher of this study, and will be kept securely in a locked location and will only be referenced when necessary to conduct the research. After the storage period ends, the storage medium will be physically destroyed and disposed of. |
| Providing information to outside parties                    | No information will be provided to external parties.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Name of the person responsible for managing the information | Osaka Metropolitan University Graduate School of Nursing, Comprehensive Community Care Science<br>Master's degree program Jun Nakanishi<br>Professor Ayumi Kono                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Conflict of interest in this study                          | No companies have any conflicts of interest to disclose in relation to this study.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| If you do not want to participate in the research           | If you have any questions or concerns about this study, please contact the address below. If you wish to withdraw from the study, please contact the following address by August 31, 2025. Patients will not be disadvantaged in their treatment or care if they express an intention to decline.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| contact address                                             | Osaka Metropolitan University Graduate School of Nursing, Comprehensive Community Care Science<br>email address : sr23570j@st.omu.ac.jp<br>Responder : Jun Nakanishi                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

涉及人类受试者的护理研究的信息披露

|                 |                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究项目名称          | 居住在日本的外国人的日语能力与住院天数的关系                                                                                                                                                                    |
| 研究意义和目的         | 明确日语能力与住院外国居民的住院天数之间的关系。本研究的另一个目的是明确目标患者的日语能力与临床路径发生变异之间的关系。本研究的实施将有助于建立住院外籍居民日语能力的支援体系，为护理实践奠定基础。                                                                                        |
| 研究期间            | 自大阪公立大学护理研究生院伦理委员会批准之日起 2026 年 3 月 31 日                                                                                                                                                   |
| 选择退出期           | 经大阪公立大学护理研究生院伦理委员会批准，有效期至 2025 年 8 月 31 日                                                                                                                                                 |
| 愿意配合研究的人员（目标人群） | 2023 年 4 月 1 日至 2025 年 3 月 31 日期间在大阪公立大学医院住院的 20 岁以上的外国患者中，以下人员符合条件：①在日本停留 91 天以上；② 符合 DPC 制度（综合日付费制度）者；③本人或医疗人员告知其日语能力需要特别注意的人。                                                          |
| 使用信息            | <p>将从电子病历中收集以下数据。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· 基本信息：入院时的年龄、性别、国籍、日语能力、保险种类、医疗种类、是否有主要照顾者</li> <li>· 医疗信息包括入院时的疾病名称、入院时的并发症、医疗部门、住院时间、临床路径、解释工具的使用以及出院时的结果。</li> </ul>     |
| 研究所信息           | <p>【研究机构和实施结构】</p> <p>大阪公立大学护理学院社区综合护理科学系</p> <p>中西潤、河野步美</p> <p>【合作组织】</p> <p>大阪公立大学医院</p>                                                                                               |
| 如何发表你的研究成果      | 本研究的结果将在研究对象的个人信息匿名化后，用于在学术会议上发表、在研究论文中发表。                                                                                                                                                |
| 开始数据收集・如何提供信息   | 数据收集将在大阪公立大学护理研究生院伦理委员会批准后开始。根据伦理审查委员会批准的程序，研究对象的患者 ID 将由大阪公立大学医院国际医疗支援中心患者支援部适当提供，并仅用于在大阪公立大学医院内部收集必要的信息。本研究将在获得大阪公立大学医院的研究合作同意后开始。                                                      |
| 个人信息的处理         | 我们不会收集任何个人身份信息，例如患者 ID、姓名、地址或出生日期。在分析收集到的信息之前，会删除疾病名称等个人信息，并分配一个新号码，这样就无法识别其所属者。所有收集到的信息将存储在安全的 USB 中，直到 2036 年 3 月 31 日，并将被安全地保存在上锁的位置，直到进行研究所需的时间为止，由本研究的研究人员全权负责。存储期结束后，存储介质将被物理销毁并处置。 |
| 向外部各方提供信息       | 不会向外部各方提供任何信息。                                                                                                                                                                            |
| 负责管理信息的人员姓名     | <p>大阪公立大学 看护研究生院 社区护理综合科学</p> <p>硕士课程 中西潤</p> <p>教授 河野步美</p>                                                                                                                              |
| 本研究中的利益冲突       | 没有任何公司与本研究有关且需要披露任何利益冲突。                                                                                                                                                                  |

|           |                                                                                                |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 如果你不想参与研究 | 如果您对本研究有任何疑问或担忧,请通过以下地址与我们联系。如果您不想参与本研究, 请于 2025 年 8 月 31 日之前联系我们。即使您表示拒绝, 您的治疗或护理也不会受到任何不利影响。 |
| 联系地址      | 大阪公立大学 看护研究生院 社区护理综合科学<br>电子邮件: sr23570j@st.omu.ac.jp<br>响应者: 中西潤                              |

인간을 대상으로 한 간호계 연구에 관한 정보 공개

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 연구과제명                       | 재류 외국인 환자의 일본어 능력과 입원 일수 연장과의 관련                                                                                                                                                                                                                                  |
| 연구의 의의·목적                   | 입원 중 재류 외국인 환자의 일본어 능력과 입원 일수 연장과의 관계를 밝힙니다. 또, 대상 환자의 일본어 능력과 클리니컬 패스에서의 변이 발생과의 관계를 밝히는 것을 본 연구의 목적으로 합니다. 본 연구의 실시에 의해, 입원중인 재류 외국인 환자에서 일본어 능력에 대한 지원 체제의 구축과 간호 실천의 기반이 된다.                                                                                  |
| 연구기간                        | 오사카 공립 대학 대학원 간호학 연구과 윤리 심사 위원회에 승인된 날부터 2026 년 3 월 31 일                                                                                                                                                                                                          |
| 옵트아웃 기간                     | 오사카 공립 대학 대학원 간호학 연구과 윤리 심사 위원회의 승인 후부터 2025 년 8 월 31 일                                                                                                                                                                                                           |
| 연구 협력을<br>부탁하고 싶은<br>분(대상자) | 2023 년 4 월 1 일부터 2025 년 3 월 31 일까지의 기간에 오사카 공립대학 의학부 부속병원에 입원한 20 세 이상의 외국인 환자 중, ①일본에 91 일 이상 체재하고 있어, ②DPC 제도(1 일당 포괄 지불 제도)의 대상이며, ③일본어 능력에 대해 본인 또는 의료자로부터 배려의 필요성의 신고가 있는 분                                                                                  |
| 사용하는 정보                     | 전자 의료 기록에서 다음 데이터를 수집합니다.<br>・ 기본 정보로서 입원 시 연령, 성별, 국적, 일본어 능력, 보험 종별, 구호 구분, 주요 간병인의 유무<br>・ 진료 정보로서, 입원시 병명, 입원시 합병증, 진료과, 입원 일수, 클리니컬 패스, 통역 틀의 사용, 퇴원시 결과                                                                                                     |
| 연구기관 정보                     | 【연구 기관 및 실시 체제】<br>오사카 공립 대학 간호 학부 지역 포괄 케어 과학 분야<br>나카니시 준、고노 아유미<br>【협력기관】<br>오사카 공립 대학 의학부 부속 병원                                                                                                                                                               |
| 연구결과를<br>발표하는 방법            | 이 연구에서 얻은 결과는 연구 대상자의 개인 정보가 드러나지 않도록 한 후에 학회 발표 및 논문 제출 발표에 사용됩니다.                                                                                                                                                                                               |
| 데이터 수집 시작<br>정보 제공 방법       | 데이터 수집 시작은 오사카 공립대학 대학원 간호학 연구과 윤리 심사 위원회의 승인을 받은 후로 합니다. 윤리 심사 위원회에서 승인된 절차에 따라, 연구 대상자의 환자 ID 는 오사카 공립대학 의학부 부속병원 내의 환자 지원과 국제 진료 지원 센터로부터 적절히 제공받아, 오사카 공립대학 의학부 부속병원 내에서 필요한 데이터를 수집하는 목적에만 사용합니다. 또한, 본 연구는 오사카 공립대학 의학부 부속병원으로부터 연구 협력에 대한 동의를 얻은 후에 실시합니다. |
| 개인 정보 취급                    | 환자 ID, 성명, 주소, 생년월일 등 개인을 특정할 수 있는 정보는 수집하지 않습니다. 수집된 정보는 분석 전에 병명 등의 개인 정보를 삭제하고 새 번호를 부여하여 누구의 것인지 알 수 없도록 합니다. 수집된 모든 정보는 본 연구 연구자의 책임 하에 2036 년 3 월 31 일까지 보안 기능이 탑재된 USB 에                                                                                   |

|                             |                                                                                                                                          |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                             | 저장하고, 잠긴 장소에서 엄격히 관리하며, 연구 수행에 필요한 경우에만 참조합니다. 보관 기간 종료 후에는 저장 매체를 물리적으로 파괴하여 폐기합니다.                                                     |
| 외부에 정보 제공                   | 외부에 정보를 제공하지 않습니다.                                                                                                                       |
| 정보의 관리에 책임이 있는 사람의 성명 또는 명칭 | 오사카 공립 대학 대학원 간호학 연구과 지역 포괄 케어 과학<br>석사과정 나카니시 준<br>교수 고노 아유미                                                                            |
| 본 연구의 이해 상충 관계              | 이 연구와 관련하여 열어야 할 이해 상충 관계에있는 기업은 없습니다.                                                                                                   |
| 연구에 협력을 원하지 않는 경우           | 본 연구에 관한 질문이나 확인은, 아래의 연락처에 연락을 부탁드립니다.연구 협력에의 사퇴의 신청에 대해서는, 2025 년 8 월 31 일까지 아래의 연락처로 연락을 부탁드립니다.사퇴 의사를 제시해도 환자는 치료나 요양에 불이익을 받지 않습니다. |
| 연락처                         | 오사카 공립 대학 대학원 간호학 연구과 지역 포괄 케어 과학<br>이메일 주소 : sr23570j@st.omu.ac.jp<br>대응자 : 나카니시 준                                                      |